UCDA

保険業界向けフォント発表

今月11日から受注生産を開始

生保各社が契約者へ送付する帳票をデザインの視点から評価した「UCDAアワード」を主催する一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会（福田泰弘理事長、以下UCDA）はこのほど、保険会社をはじめとする金融機関の帳票向けに「UCDAフォント」の受注生産を今月11日から開始したと発表した。既に今年7月、生保21社の帳票を評価した「UCDAアワード2010」の選考結果報告会で開発中であることを明らかにしていたことから、生保や大手印刷会社など数社から導入に向けて問い合わせがきていたという。

今回、受注生産するのは、主に印刷会社で高速で大量に印刷する際使用するビットマップフォントと呼ばれる種類のもの。従来型のフォントでは、印刷機の性能上、印字した文字が見づらくなることが多く、特に総合通知のように個人ごとに異なる内容を小さな文字で大量に記載した保険会社向け帳票では、多方面から読みづらさが指摘されていた。今回発表したフォントでは、小さく印字しても高い視認性や判読性、可読性の維持を目指している。

共同開発に当たっては、視認性で定評のある㈱イワタ（水野弘一郎代表取締役）の「イワタUDフォント」をベースに、東京電機大学エルゴノミクスデザイン研究室が評価。加えて、文字単体の判読性評価には、被験者を用いたテストを臨床的に行ったほか、加齢に伴う視力低下や白内障の視認状態を工学的に再現する独自の評価手法も導入したとのこと。

UCDA事務局では今回の発表に合わせて独自の評価ガイドラインを策定。今後、生・損保各社への採用を目指すとする一方で、広く一般が利用できるアウトラインフォントと呼ばれる種類も来春発売の予定でいる。

保険毎日新聞

日　刊（但土曜 日曜 祝日休刊）
定価1カ月4,000円（送料＋税込み）

発行所
保険毎日新聞社
東京都千代田区岩本町1丁目4番7号
〒101-0032
電　話 03(3865)1401(代表)
振　替 00140－6－70860

©保険毎日新聞社